

日本・ベトナム青少年交流の森

TAYと手 (手)

「南遊の会」会誌第9号
発行日 2008年3月



街は暑く 人は熱い とにかくアツく楽しかった！
マングローブ植林 ベトナム・スタディツアー

昨年、8月15日から24日までの10日間、毎年恒例のベトナム・スタディツアーを行いました。日本人学生28名、社会人4名の参加があり、ベトナムからは学生27名が参加しました。スタッフを含めて総勢68名でのツアーとなりました。

ベトナム国ホーチミン市カインザン県にある「日越青少年交流の森」は、既にお伝えしていますように、一昨年、全面積50haへの植林が完了しています。しかし、ただ植えただけでは、一度失われた森の再生はできません。そのため、今回のツアーでは、下草刈りと補植を中心に森のメンテナンスを行いました。

他にも、討論会、子どもたちの寄宿舎訪問、日越混合のグループによる観光などの交流プログラムを通して、日越の交流が盛んに繰り広げられました。

本号では、07スタディツアーの話を中心に伝えします。

07 スタディツアー

ただの観光じゃつまらない。本当の旅の発見は、新しい景色をみることでなく、新しい目をもつことなのだ。

3日目 ①



ベトナム人学生と合流してカンザーへ。まずはよきよきしく自己紹介。これから始まる一緒の生活。どんな楽しいことが待っているのかな？

番外編 ① スタッフ交流編



カンザー県副主席を表敬訪問



森林組合のスタッフと

3日目 ②

森林組合の事務所でカンザーのマングローブ林についての勉強会。カンザーのマングローブはベトナム戦争の枯葉剤の影響でほとんど消滅。今は植生回復のために様々なことをしている。わたしたちはその一部をお手伝いさせてもらうんだ。

3日目 ③

森林公園を見学。マングローブの森の中をボートで進むと、再現された民族解放戦線の基地があった。基地を見付けやすくするために枯葉剤がまかれた。枯れた巨木の根元が何も言わずにたたずんでいた。でも今は猿も生活できる森になった。猿たちは、元気過ぎだ。ご注意を！

番外編 ② カンザーのホテルにて



討論会の様子



ホテル近くの海岸にて



2日目

Củ Chi



地下に張り巡らされたクチトンネルを見学。トンネルのほんの一部を通ってみただけ、暗くて、狭くて、蒸し暑い。今は平和だからこぎこぎ言えるのかな。

1日目



空港に降り立ったわたしたちを待ち受けていたのは、オリエンタルな風に吹かれたエキゾチックな街並みとバイクの大群だった！

8日目



班に分かれて市内観光。夜は、お別れパーティー。浴衣美人(ベトナム人)とアオザイ美人(日本人)に見とれてしまう！？とても華やかでした。

9日目

終日フリー。フリーと言ってもほとんどの人がベトナム人学生と心ゆくまで過ごした。日本人はベトナム人との、そしてベトナム人は日本人との交流を大切にしたい。

もう彼らの中には、ベトナム・日本という区切りなどなかったのだろう。

10日目



別れするとき。ベトナム人学生が空港まで見送りに来てくれた。笑っての別れもあれば、泣いての別れもある。10日という日は、来る前は長いと思ったけど、全然足りなかった。また会いましょう！
Hen Gap Lai!

7日目



タントンヒエップ寄宿舎を訪問。サッカーやバンブーダンスをしたり、日本のカレーをみんなで作ったりしました。ベトナムの子どもたちは元気で生き生きしていました。

4日目



今日から植林だ。船でのんびり移動したら、今度はぬかるんだ森を歩いてやっと植樹地へ。これだけでもう疲れた。今日はニッパヤシを刈って、マングローブの植樹の準備をしました。休憩中は、「家族は何人?」「恋人はいるの?」と、お互いに質問攻め。いろいろな所から笑い声が聞こえてきた。

5日目



引き続き下草刈り。日本人とベトナム人と協働で作業をします。汗が止まりません。こんなに汗をかいたのは初めてかもしれない。とっても疲れる。でも、なんだか楽しい。

6日目



いよいよ植樹。苗を運んで穴を掘って、丁寧に植える。体も慣れて、動くのが楽になった。作業も順調に進んだ。でも、帰りのバスの中はやっぱり？3日間お疲れ様でした！！



XIN GIOI THIOU! 紹介します!

今回のスタディツアーでもベトナム人と日本人とでペアを組み、数日間生活を共にしました。自分たちとは異なった生活の方法・考え方をを持った者同士が行動を共にすることで、人それぞれ感じたこととはたくさんあったと思います。このツアーに参加した日越の学生の感想を感想文集『MESSAGE』から抜粋して紹介します。

カンザーといえば、私は日越青少年交流の森を思い出します。

植林することはベトナムの環境に貢献します。植林の時間に私はおもしろいことを勉強しました。環境について勉強したり植林に直接参加したりしました。植林することは大変でしたが、私にとってこのことはいい思い出です。

植林のおかげで日本人と交流できる時間がありました。一週間だけですが、短い時間においても日本人と生活や楽しむことや勉強することを交流してもらいました。

私はこのように植林するのは毎年行われて欲しいです。ベトナムの学生と日本の学生にいい機会を与えます。だから私も機会があったらもう一度植林したいです。



HUYNH THI PHUONG HAU



メインの植林は、本当に大変な作業だと感じました。自然を壊すのにはいろいろな方法があり、まとめて壊すこともできるけれど、再生させるのは、1本1本手作業で行うしかありません。人間が自分の都合で簡単に破壊することがいかに愚かなのかを感じました。泥だらけになって日本人もベトナム人も皆でなりふり構わず一生懸命植林したことはずっと忘れません。

ベトナムに行って、初めての海外で植林ということもあり、初めは不安ばかりのツアーでしたが、一緒に行った最高の仲間をはじめ、ベトナム人学生や子どもたちなどたくさんの人に出会えて、一緒に笑って、汗を流して、協力してきたことは最高の思い出です。ここで学んだことはこれからの自分にとっていろんな面ですごく大きな意味を持ってくるに違いありません。

岡田 千佳



ANH CO THAM GIA KHONG? 参加しませんか?

○ お願い ~マングローブパスポートについて~

「日越青少年交流の森」作りは、多くの方々の好意による募金で成り立っています。ご協力頂いた方には「マングローブパスポート」をお渡ししています。金額は1口100円です。そして、「日越青少年交流の森」完成の暁には、ご協力頂いた方々のお名前を刻んだ記念碑を立てる計画です。



○ '08 スタディツアー参加者募集!

本年も8月にスタディツアーを開催する予定です。募集の詳細は、4月以降にホームページなどでお知らせしていきます。わたしたちと一緒に、森を育み、日越の友情を深めませんか?

編集者 : 野口 泰司

「南遊の会」事務局

大西 哲雄

〒460-0008

愛知県名古屋市中区栄1-23-13

なごやボランティアNPOセンター内

URL : <http://www.namdu.jp>

E-mail : info@namdu.jp